



みんなでおどろろ『八木節』



あしたははれる



記念撮影

□ 交流および共同学習②③『造形①②』

- 『マスキングテープでえがこう』
- 作品鑑賞



マスキングテープでえがこう①



マスキングテープでえがこう②



マスキングテープでえがこう③



作品鑑賞①



作品鑑賞②



作品鑑賞③

□ 交流および共同学習④『音楽②』

- はじまりの歌(両校の児童によるバイオリンの演奏)
- みんなでうたおうよ(発声練習)
- みんなであくしゅ(協同活動)
- カリビアン・ラゲーン(楽器演奏とダンス)
- 鑑賞教室『江戸三味線』(音楽鑑賞)
- 感想発表
- さようならの歌(クールダウン)
- 記念撮影



はじまりの歌①



はじまりの歌②



みんなであくしゅ



カリビアン・ラゲーン



鑑賞教室『江戸三味線』①



鑑賞教室『江戸三味線』②

□ 交流および共同学習④『食育』

○給食準備・配膳

○給食試食



給食準備・配膳①



給食準備・配膳②



給食試食

結果

本学級の児童は、附属幼稚園竹早園舎より進学した者が15名であり、20名が小学校より入学した者である。竹早園舎以外の保育園・幼稚園から進学した者の中には、保育園・幼稚園在籍時に障害のあるこどもと一緒に生活をしたり、保育園・幼稚園以外でも何らかの形で障害のあるこどもと関わったりする経験を持つ児童もいるが、多くの児童が、これまで障害のあるこどもとふれあう経験がなかった。

本実践において、活動ごとの事後指導では、作文等での活動の振り返りを行った。そこからは、初対面の相手に少し戸惑いながらも、活動の回数を重ねていくごとに、自然とこどもたち同士の関係を少しずつ深めていき、相手の良さを認め、一緒に活動自体を楽しむ姿がうかがわれた。そして、同時に積極的に活動に参加してゆく過程において、今まで気づいていなかった自己についての理解を深める姿も見ることができた。他者理解をねらいとした活動ではあったが、交流および共同学習は、自己理解を深めることができる活動であることが分かった。

本実践には、日本大藝術学部の参加や保護者、大学関係者、研究機関等の参観もあつたり、『図工』の共同学習で制作された作品を、日本大学藝術学部江古田校舎のギャラリーで展示、公開することができたりと、本校児童と筑波大学附属大塚特別支援学校児童だけの活動ではなく、多くの方に活動をみていただき、交流・共同学習の実践を広く知ってもらおう機会となった。



所感

児童の様子からも、交流・共同学習は、一回で終わってしまうのではなく、回数を重ねることの大切さを実感した。そして、大人が思うよりずっと1年生のこどもたちは柔軟で、構えること無く関係を築いている姿を見ると、より早い段階から、このような経験を積むことで『共に生きる』ことが当たり前になっていけるのではないかと感じた。体験的に相互の理解を深めてきた両校の児童が、今後、様々な場面でこの経験を活かしていってくれることを願っている。

そして、様々な角度から相互の理解をより一層深めていくためにも、今後は、交流・共同学習の内容、形態等をさらに検討し、よりインクルーシブな実践を模索していきたいと考えている。



全附連をはじめ、本実践にご協力、ご支援をいただいた全ての皆様に御礼申し上げます。

添付書類

領収書

HPへの掲載 可

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成27年3月20日		
学校名	東京学芸大学附属竹早小学校		
学年		氏名	

【児童の感想】

《交流・共同学習①『音楽①』》

10月3日金요일、大つかに、音がくのべんきょうをしにいきました。音がくでは、いろいろなうたをおしえてもらいました。めいしこうかんもして、おおつかのともだちのなまえもおぼえました。とてもたのしかったです。かえるとき「もうかえるのか。」と。さみしくなりました。またきたいなおもいました。

(東京学芸大学附属竹早小学校1年女子)

大つかのみんなと、いっしょに、たのしく音がくのおべんきょうしました。はじめはちょっとはずかしかったけれど、だんだんたのしくなってきた、みんなともだちになってきてうれしかったです。またいっしょにがんばりたいです。

(東京学芸大学附属竹早小学校1年女子)

わたしは、はじめてバイオリンをひきました。またひいてみたいです。うたでは、みんなであくしゅをがんばりました。大つかのおともだちとなかよくなれました。大つかのおともだちは、バイオリンが上手でした。

(東京学芸大学附属竹早小学校1年女子)

《交流・共同学習②③『図工①②』》

大つかのみんなと図工のべんきょうで、アクアボールがたのしかったです。でも、わたしは、大つかでおともだちができたことがーばんうれしかったよ。また、あいたいな。

(東京学芸大学附属竹早小学校1年女子)

さいしょ、大つかのともだちは、マスキングテープをだいたんにきっちゃった。だけど、ぼくはそれもいいんじゃないかとおもったよ。カラフルなながれぼしみたいで、きれいだったもん。つぎ、またあえたらいいな。

(東京学芸大学附属竹早小学校1年男子)

《交流・共同学習④『音楽②』『食育』》

大つかのきょうどうがくしゅうで、音がくをやって、じぶんがいっしょうけんめいやるにやると、すごくたのしくなれるということがわかった。なんかいもやったなかで、ーばんたのしかった。また、おおつかのおともだちといっしょにべんきょうしたいです。

(東京学芸大学附属竹早小学校1年女子)

大つかについて、さいしょに音がくをやりました。カリビアンラグーンやみんなであくしゅをやりました。ーばんたのしかったのは、しゃみせんです。とっても音がきれいでした。またいきたいです。

(東京学芸大学附属竹早小学校1年女子)

大つかのともだちは、きゅうしょくのたべかたが、とてもきれいだったよ。竹早もまけていられない。しかも、大つかのきゅうしょくは、竹早のきゅうしょくよりおいしかったよ。

(東京学芸大学附属竹早小学校1年男子)

大つかのきゅうしょくで、ぎゅうにゅうが、ビンだった。きゅうしょくは、のこさずたべた。ピカピカにたべた。ぜんぶピカピカにたべた。

(東京学芸大学附属竹早小学校1年男子)

大つかのきゅうしょくで、すごいことがあったよ。いくまえにはなしはきいていたけど、大つかのおともだちは、ピカピカにたべていたよ。もう、せかいーぐらいたとおもったよ。

(東京学芸大学附属竹早小学校1年女子)

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成27年3月20日
学校名	東京学芸大学附属竹早小学校 筑波大学附属大塚特別支援学校
氏名	

【保護者の感想】

子どもたちと共にとっても良い機会を頂き、ありがとうございました。普段接する機会があまりない他学校、特に特別支援学校の子どもたちと竹早の子どもたちがどのようにふれ合っているのか、間近で感じることができました。子どもには「感じたまま、素直な心で接して欲しい」と思っていたのですが、子どもたちは大人が考えるまでもなく、真っ直ぐに関わっていて、こちらも勉強になりました。感じる力がたくさんあるこの時期に、このような取り組みの機会に恵まれ、とても嬉しく思います。

(東京学芸大学附属竹早小学校1年生保護者)

特別支援学校のお友達との交流・共同学習は、竹早の1年生の子どもたちにとって、大変貴重な経験だと思います。障害を持つお友達のことをまだ理解できていなくても、音楽や造形など楽しい時間を共有していく中で、少しずつ感じることもあるようです。自分たちとは少し違うところもあるけれど、みんな大切な友達なのだと息子は話しています。交流を深めていくなかで、お友達の良いところをたくさん見つけて、何かできることがあれば自然に行動できるようになって欲しいと願っています。また、特別支援学校の先生とのお話しのおかげで、マナーや身だしなみはとても大切なことで、きちんとしている子どもは周りの方から可愛がってもらえるのだとうかがい、本当にその通りだと思いました。改めて、マナーや身だしなみを教えることの大切さを感じました。今回このような機会を頂き、本当にありがとうございました。

(東京学芸大学附属竹早小学校1年生保護者)

昨年のアニメーションも完成したものが素晴らしく、子ども達もびっくりしたのではないかと思います。今年もアクアボールを見るのが楽しみです。ひとりひとりの活動(作品)が少しでも、みんなが集まるとすごい物が出来るということを三校それぞれの皆さんが実感できる、良い学習だと思います。

(筑波大学附属大塚特別支援学校小学部低学年保護者)

大塚以外の児童のみなさん、学生さんとの交流・共同学習もとても楽しみにしています。竹早小学校のみなさんとの交流の時、参観させていただきましたが、自分より年下の子とも分かって、しっかり歌ったり、踊ったりしようと見本になろうとがんばる姿も分かり、良かったです。回数もさらに増えればありがたいです。

(筑波大学附属大塚特別支援学校小学部低学年保護者)

造形は、まだ手が器用ではない我が子にとって苦手な学習ですが、竹早小学校の児童のみなさんとの交流や日大芸術学部の学生さんの指導で刺激をもらっていることと思います。大変貴重な交流の場であり、来年度も引き続きもうけていただければ、ありがたく思います。

(筑波大学附属大塚特別支援学校小学部中学年保護者)

昨年に続き、3校での造形交流。今年は小学1年生と大学生の大きいお兄さん、お姉さんとの共同作業…皆で協力し、作品を仕上げていく過程で、ひとりひとりが色々な事を感じ、考え、そして素敵な作品に感動し、貴重な時間を共有できたのではないかと思います。

(筑波大学附属大塚特別支援学校小学部中学年保護者)

竹早小との交流を参観させていただきました…まだまだ思い思いに表現したい1年生が「待つ」「話を聞く」姿に、いろんな学びをしてほしい我が娘!!と思いました。

(筑波大学附属大塚特別支援学校小学部高学年保護者)

今年度の竹早小は1年生ということで(下級生との交流は初めて!)どうなるのか不安もありました。が、みんなが自然と楽しく交流している姿をHPで拝見し、こういうことが当たり前の世の中になったら良いな…と思いました。造形作品のお披露目も楽しみです。

(筑波大学附属大塚特別支援学校小学部高学年保護者)